

岩接着DKボンド工法
専用材料
DKボンドモルタル

2017年改訂

まえがき

岩接着DKボンド工法については、工法開発以来30年を超え、落石予防工法の一翼を担う工法として益々社会的要請が増大し、その影響範囲も拡大しています。

平成7年（1995年）の阪神淡路大地震においては至近の地域に在る施工地も完全に原状を維持し、工法の安定・安心を立証してくれています。

そのような中、DKボンドモルタルは岩接着工法専用材料として供用されてまいりましたが、施工エリアの拡大とともに、材料としての品質に係る質疑事項も多く、また多様化してまいりました。

この度、第二建設株式会社におきましては、DKボンドモルタルの配合仕様の変更ということに併せて、最近の品質試験成果も掲示し、岩接着工法が益々有効性をもってご利用いただけますように、ここに資料の整理を行ったところでございます。

どうかDKボンドモルタルをご使用の際には、諸元のご検証方宜しくお願いを申し上げます。

平成23年1月

第二建設株式会社

技術部

監修：元名城大学工学部教授

工学博士（名古屋工業大学）

飯坂武男

改訂に当たって

今回、これまでの施工実績を踏まえ、試験データの更新など本冊子の掲載内容の一部見直しを行い、改訂版として発行するに到りました。

当社では岩接着工法における施工材料の品質の向上に向けて、今後とも一層の研究、改良に努めて参ります。工法適用に際し本冊子を広く活用して頂ければ幸いです。

平成29年4月

第二建設株式会社

技術部

目 次

§ 1.	DK ボンドモルタルの素材と特長	1
§ 2.	DK ボンドモルタルの初期性状	4
1.	流動性	4
2.	凝結時間	5
3.	養生条件	7
§ 3.	DK ボンドモルタルの基礎物性	8
1.	単位容積質量、曲げ強さ、圧縮強さ	8
2.	引張接着強さ	15
3.	曲げ接着強さ	18
4.	長さ変化率	20
5.	基礎物性に基づく各種性能	22
§ 4.	DK ボンドモルタルの耐久性	24
1.	凍結融解に対する抵抗性	24
2.	促進耐候性処理後の曲げ接着試験	28
参考資料	■ 曲げ強さ、曲げ接着強さの算定について	31
	■ 接着系の破壊場所について	33
	■ DK ボンドモルタルの示方配合	34